

～今年収穫した日本産フレッシュホップを使用！この時期にしか飲めないビール～

「SPRING VALLEY BREWERY Hop Fest」

数量限定発売

スプリングバレーブルワリー株式会社（社長 島村宏子、以下 SVB）は、とれたてのフレッシュな日本産ホップを使用したクラフトビール「SPRING VALLEY BREWERY Hop Fest」を10月19日（月）から「Tap Marché（タップ・マルシェ）」で、10月22日（木）からキリン オンラインショップ DRINX（以下 DRINX）やSVB 東京・横浜・京都店にて数量限定で提供を開始します。

「SPRING VALLEY BREWERY Hop Fest」は、ホップの一大産地である岩手県遠野市で今年収穫したばかりのホップ「IBUKI」を使用した、鮮やかな香りと豊潤な味わいが特長のエールビールです。「IBUKI」はフローラルで華やかな香りが特長の希少な日本産ホップですが、収穫後すぐに生のまま凍結してビール醸造に使用することで青々しくフレッシュな香りも楽しむことができます。

SVB は日本産のフレッシュホップに関わる原材料生産者、ビール醸造家、飲食店から飲み手であるお客様までを繋げ、日本ならではのビアカルチャーを創造する日本産ホップ推進委員会の活動に共感し、同会が企画、運営する「フレッシュホップフェスト 2020」に参加しています。例年は全国のフレッシュホップビールを一同に会したフェス方式のイベントを実施していますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、オンラインで開催します。全5回配信のうち、第4回（11月15日（日）13:00-19:00）と第5回（11月29日（日）11:00～17:00）には SVB マスターブリューワである田山智広がビールセミナーや、今年のフレッシュホップビールに関するパネルディスカッションに登壇する予定^{※1}です。

※1 スケジュールや詳細はフレッシュホップフェスト公式ホームページで公開予定（<https://freshhop.jp/>）

キリンビールは100年以上前からホップの国内試験栽培を開始し、日本産ホップ育成の取り組みを進めてきました。遠野市をはじめとした東北のホップ農家とも半世紀以上にわたる契約栽培の歴史を経て、現在では日本産ホップの約7割を当社が購入しています。日本産ホップの生産量は2008年からおよそ10年間で446tから202tへと半減^{※2}しており、遠野市のホップもピーク時の6分の1まで生産量が減少しています。

良質な日本産ホップの産地を守るため、遠野市と生産者の皆様、地域の皆様と連携し、ホップ農家への積極的な支援や、地元の大切な資産である日本産ホップの魅力を活用した地域活性化に取り組み、「遠野ホップ収穫祭」や「遠野ビアツーリズム」の実施など、さまざまな成果が生まれています。また直近5年間では、この取り組みに賛同いただいた20名（内12名がホップ農家）の方が遠野市へ移住されるなど、当社の取り組みは遠野市の日本産ホップを中心とした産業活性化に寄与しています。

※2 出典：全国ホップ連合会「ホップに関する資料」



キリンビールでは、ビールの未来をお客様とともに創造する「SPRING VALLEY BREWERY」をはじめとして、ビールをより魅力的にしていけるためのさまざまな活動を展開していきます。

キリングループは、「酒類メーカーとしての責任」を果たし、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」という社会課題に取り組むことで、こころ豊かな社会を実現し、お客様の幸せな未来に貢献します。

記

| | |
|------------|---|
| 1.商品名 | 「SPRING VALLEY BREWERY Hop Fest」 |
| 2.原材料 | 麦芽（外国製造又は国内製造（5%未満））、ホップ、糖類（乳糖） |
| 3.容量容器 | 3L PET・330mlびん・15L樽 |
| 4.発売日・販売場所 | ・【3L PET】2020年10月19日（月）・Tap Marché 設置飲食店の一部店舗 ・【330mlびん】2020年10月22日（木）・キリン オンラインショップ DRINX ・【15L樽】2020年10月22日（木）・SVB 東京・横浜・京都 |
| 5.アルコール分 | 6.5% |
| 6.酒税法上の区分 | ビール |
| 7.ハッシュタグ | #HopFest #日本産ホップ #フレッシュホップ #springvalleybrewery #スプリングバレーブルワリー |

以上